

第 1 回検討協議会会議後に寄せられた質問に対する回答

質問 1

現福祉センターの運用実績データの公表は。

(回答)

現福祉センターの運用実績（利用状況）については、今後、（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会における会議資料として提出する予定であり、データの集計作業を行うところです。

会議への資料提出後、遠軽町ホームページに議案及び資料を掲載します。

参考：平成 19 年から平成 21 年までの利用状況を集計の概略

○各室利用状況（部屋数 18 室）

3 力年平均稼働率 約 40%（開館日数平均 359 日）

〔 町、教育委員会、学校等の主催事業・会議 約 30%
文化団体（グループ・サークルを含む）約 23% 〕

○大ホール利用状況

3 力年平均稼働率 約 55%（開館日数平均 359 日）

〔 町、教育委員会、学校等の主催事業・会議 約 58%
社会教育関係団体主催事業等 約 19% 〕

○福祉センター使用料（歳入） 年間約 3,500 千円（H28 見込）

○福祉センター管理事業（歳出） 年間約 37,000 千円（H28 予算）

質問 2

具体的な新福祉センターの運用目的は。

(回答)

遠軽町文化センター等を考える会からの進言書を基本に、音楽を中心とした芸術・文化活動の拠点施設及び福祉センターの代替施設としての役割を担った施設として建設することを目的としています。

中心市街地に新たなにぎわいや人と人との交流を創出するとともに、町民のよりどころとなる施設となるよう、検討協議会委員の意見をいただき、平成 31 年からの建設工事に反映していきます。

具体的な運用内容についても、今後、関係団体等と協議し、住民の皆さんと一体となった施設づくりを進めます。

質問 3

建設後、新福祉センターの運用に関わる収支予算の公表は。

(回答)

遠軽町の予算及び決算については、ホームページで公表しておりますので、平成 33 年度（建設後）を目途に公表いたします。

http://engaru.jp/engaru/04zaisei/yosan-kessan/yosan-kessan_index.html

質問4

新福祉センターの運用を想定した予算提示は。

(回答)

運用（維持管理）予算の大まかな数字については、施設の構造や規模、機能、設備など決定後において、提示が可能と考えています。

近隣の文化センター等の年間維持管理費については、4千万～5千万円程度、現福祉センターの年間維持管理費は約3千7百万円となっており、建設に当たっては、新エネルギーや省エネルギーの導入を行い、施設の維持管理費を抑制します。

質問5

新福祉センター建設に関する会議の公開は。

(回答)

(仮称)えんがる町民センター建設検討協議会会議については、公開としております。

会議は、アドバイザーや委員の皆様の御都合を考慮し、毎月第4金曜日の午後3時からの開催を基本としております。

町民の皆様には本事業の取り組みを御理解いただけるよう、町広報やホームページへの掲載、さらには、定期的に「検討協議会だより」などを作成し、周知してまいります。

<http://engaru.jp/engaru/03kikaku/torikumi-sesaku/tyoumin-senter/kyougikai.html>

質問6

アドバイザー及び設計事務所の参加経緯は。

(回答)

基本設計及び実施設計については、関係団体及び一般公募の委員からなる検討協議会の意見を反映して進めることとしておりますが、アドバイザーの参加については、多くの他自治体ホール建設に携わり、専門的な立場から施設全般及び管理運営等に対する知識を有する方の意見をいただくことが効果的かつ重要であることから、検討協議会に同席していただき、委員からの意見内容や会議経過を踏まえたうえで、総合的にアドバイスを伺うものです。

また、基本設計及び実施設計委託業者の参加についても、委員の意見を設計内容に反映させる目的から、会議に出席していただき、意見趣旨を図面に盛り込む

とともに、建築に関する技術的なアドバイスや、設計内容の説明も行っていただくこととしております。

質問7

資料5（建設内容について）については、あくまでも一案として考えてよいか。設計事務所からいくつかの案は。

（回答）

建物の配置図や平面図については、現在の建設内容から、たたき台（イメージ）を提示するとともに、今後、委員の皆様の意見をもとに複数の案をお示しいたします。

質問8

会議録の8ページに駐車場に大型バス5台分程度を確保するとあるが、過去のイベント実績で大型バスの駐車台数を把握しているか。

（回答）

過去のイベントにおける大型バスの駐車台数については把握しておりません。

管内及び道内の小中高生吹奏楽部員が演奏会又は練習等で利用する際のバス移動やコンサート・イベントにおける舞台資器材搬入用トラックの駐車を考慮し、大型車両用の駐車場所を確保することとしており、必要台数につきましても、今後、調整を行うこととなります。

質問9

福祉センターの各室の稼働率は次回提出されるか。

（回答）

福祉センターの各室の稼働率については、第2回会議において提出します。